

あわらし総合振興計画審議会名簿

職名	氏名	備考
委員	桑原 美香	学識経験者（福井県立大学）
委員	赤尾 政治	あわらし市商工会会長
委員	笹原 修之	福井県議会議員
委員	市野 三郎	あわらし市区長会連絡協議会会長
委員	木元 久	あわらし市環境審議会会長
委員	笹岡 太久磨	あわらし市都市計画審議会
委員	坂野 靖子	あわらし市社会福祉協議会会長
委員	坂井 寿範	坂井地区医師会副会長
委員	土田 ゆり子	あわらし市赤十字奉仕団代表
委員	伊藤 昭栄	あわらし市老人クラブ連合会会長
委員	渡邊 一幸	あわらし市保育部会会長
委員	丸谷 浩二	あわらし市農業委員会会長
委員	東川 継央	福井県農業協同組合代表理事副組合長
委員	坂井 幹夫	坂井森林組合代表理事組合長
委員	前田 健二	あわらし市観光協会会長
委員	山口 透	芦原温泉旅館協同組合理事長
委員	玉川 洋一	あわらし市教育委員会教育長職務代理者
委員	児玉 慎太郎	あわらし市 PTA 連合会会長
委員	宗石 宗康	あわらし市文化協議会副会長
委員	堂庭 信男	あわらし市スポーツ協会会長
顧問（特別委員）	吉田 純一	学識経験者（福井工業大学）

(趣旨)

第1条 この規則は、あわら市附属機関設置条例（令和元年あわら市条例第24号）第3条の規定に基づき、あわら市総合振興計画審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 審議会は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、必要の都度、市長が委嘱する。

(1) 学識経験を有する者

(2) 関係機関の代表者

(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者

3 市長は、必要に応じて第1項に規定する委員のほかに特別委員を置くことができる。

(任期)

第3条 委員及び特別委員の任期は、当該あわら市総合振興計画に関する審議が終了したときまでとする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、創造戦略部政策広報課において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

策定にあたり

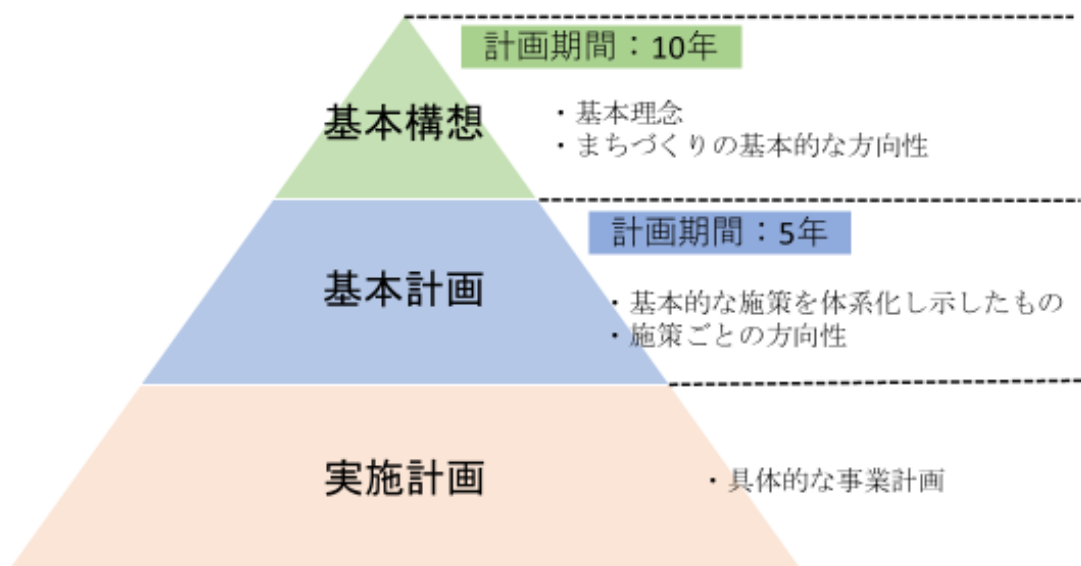
市では、現在、平成 28 年に策定したあわら市総合振興計画に掲げる「暮らしやすく 幸せを実感できるまち」をまちづくりの基本理念に、各種の施策を進めております。

この総合振興計画は、市の行政サービスの目標や基本的な方針を掲げるもので、市が行政運営を行うための中長期的な指針となります。

なお、現在の総合振興計画の計画期間は平成 28 年度から令和 7 年度となり、次期の総合振興計画は令和 8 年度から令和 17 年度となります。

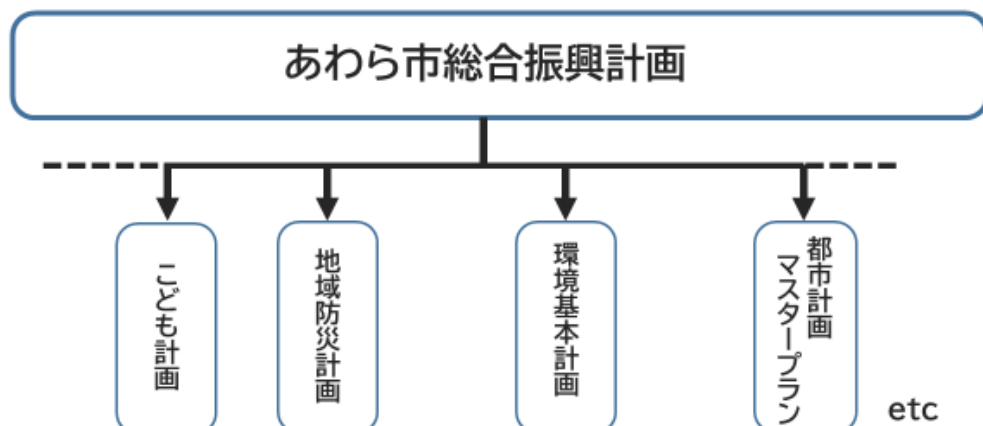
総合振興計画とは ～すべての行政サービス部門における基本的な考え方を示す～

- 市政運営の基本となる市の総合的計画
- すべての「分野」における行政の「基本的な考え方」を示すもの
- 「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」からなります。



各計画の位置づけ

総合振興計画は市のすべての計画の最上位に位置する計画です。都市計画マスタープランなどの各種計画は、総合振興計画を踏まえて策定されます。



市民目線からの策定

総合振興計画は、「市民と市が共働でまちづくりに取り組むための基本的事項を定める」必要があり、市民の意見を取り入れながら、策定していくことが求められます。

このため、策定過程において、「市民アンケート」や「ワークショップ」を実施して、計画づくりに市民の方も携わってもらうことが重要となります。

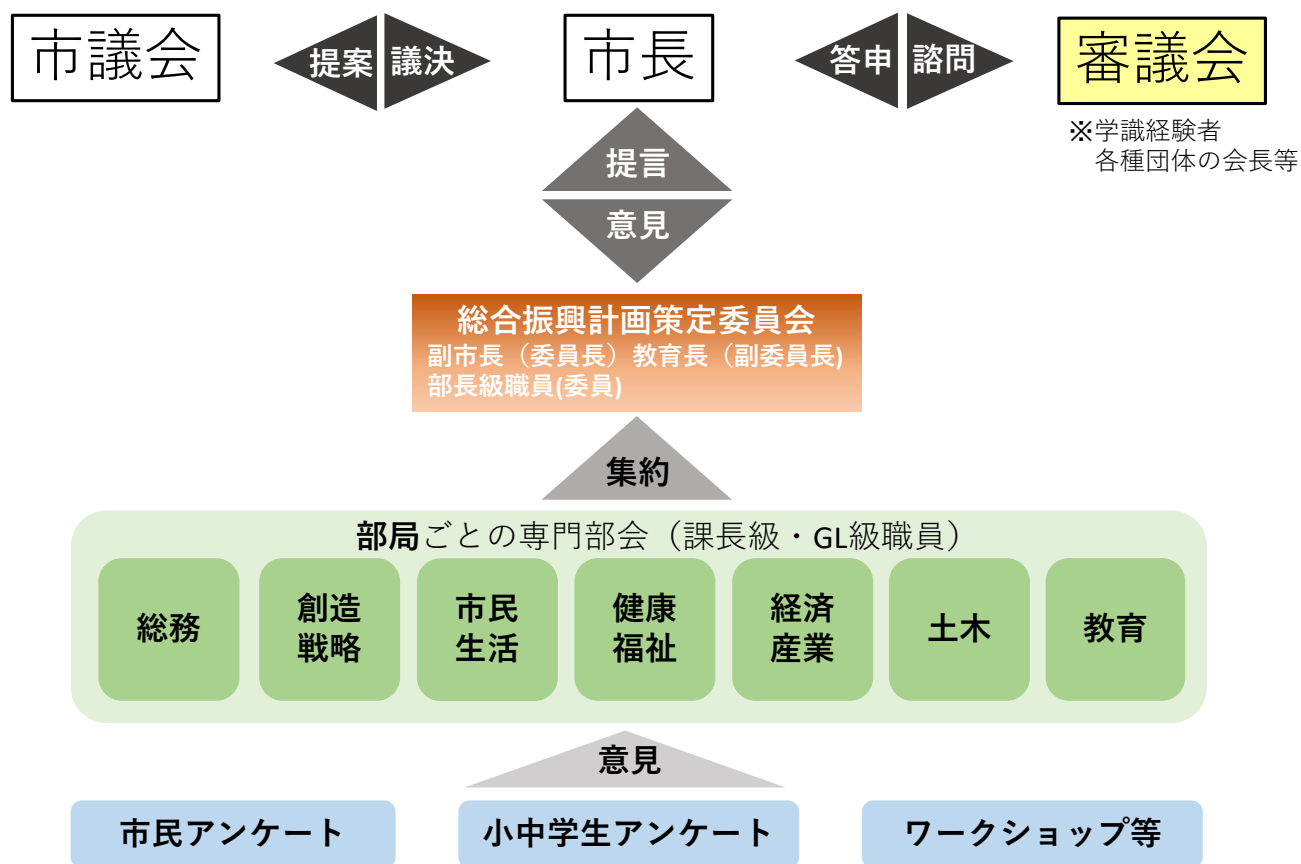
総合戦略との統合

総合振興計画とは別に、総合戦略という計画があります。

これは、「まち・ひと・しごと創生法」に基づいて策定され、人口減少対策や地方創生を目的としております。

これまでは、別々に策定しておりましたが、内容について重複する部分もあり、計画の整合性や職員の業務効率化を図るために、一本化して策定します。

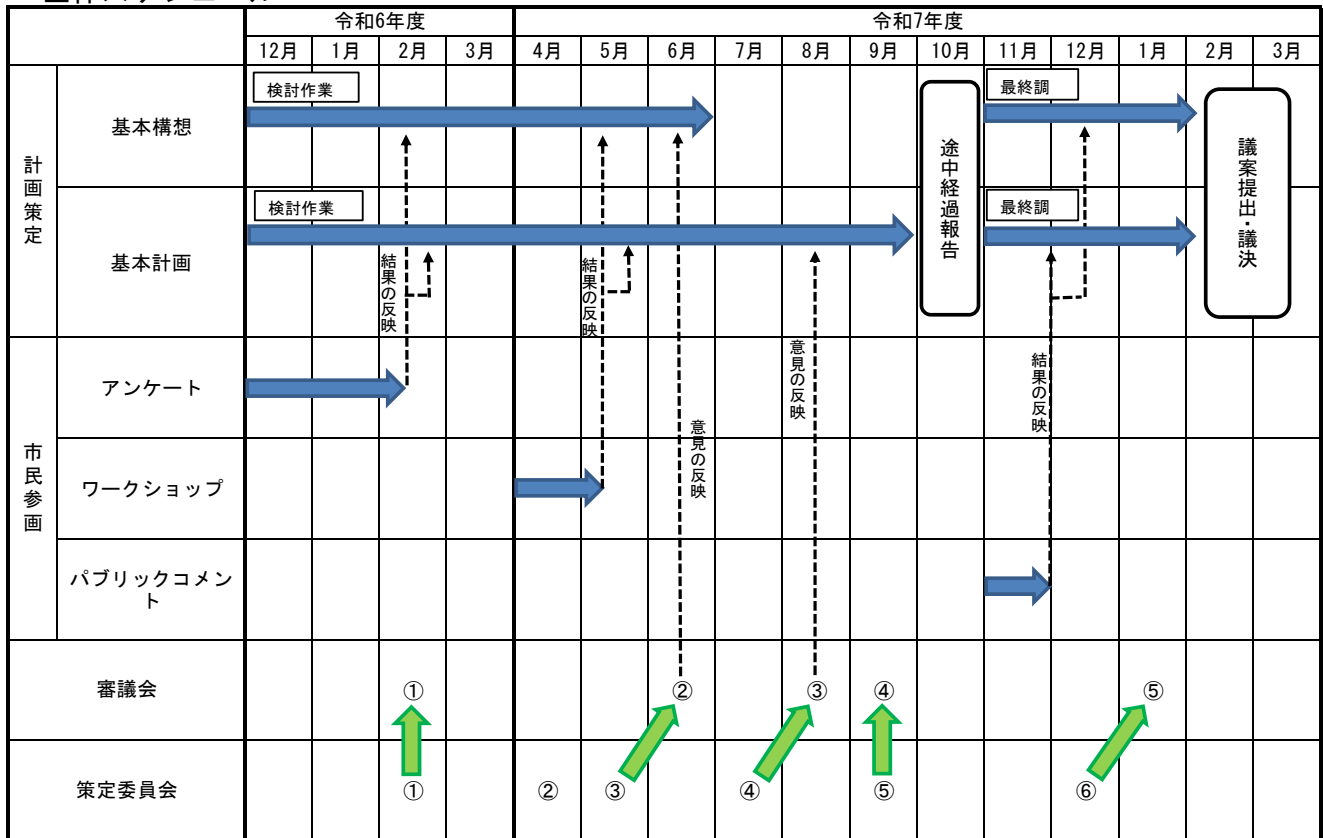
策定体制



計画策定のスケジュールについて

資料 2

・全体スケジュール



・策定委員会の内容

	開催時期	議事内容
第1回策定委員会	令和7年2月12日	・ 総合振興計画の概要および今後のスケジュール ・ アンケート結果やワークショップの進め方についての報告
第2回策定委員会	令和7年4月頃	・ 計画全体の構成の検討等
第3回策定委員会	令和7年6月頃	・ 基本構想（案）の検討
第4回策定委員会	令和7年7月頃	・ 基本計画（案）の検討（1回目）
第5回策定委員会	令和7年9月頃	・ 基本計画（案）の検討（2回目） ・ パブリックコメント案の承認
第6回策定委員会	令和7年12月頃	・ パブリックコメントの報告 ・ 計画最終（案）の確認

・審議会の内容

	開催時期	議事内容
第1回審議会	令和7年2月20日	・ 総合振興計画の概要および今後のスケジュール ・ アンケート結果やワークショップの進め方についての報告
第2回審議会	令和7年5月頃	・ 基本構想（案）の検討
第3回審議会	令和7年8月頃	・ 基本計画（案）の検討（1回目）
第4回審議会	令和7年9月頃	・ 基本計画（案）の検討（2回目） ・ パブリックコメント案の承認
第5回審議会	令和8年1月頃	・ パブリックコメントの報告 ・ 計画最終（案）の確認および答申

市民アンケート実施状況について

1. 成人向け

(1) 調査期間

令和6年12月2日（月） から 令和7年1月6日（月）

(2) 調査対象者

市内在住で18歳以上の方 2,000人（無作為抽出）

広報あわら12月号での回答呼びかけ

(3) 調査方法

郵送配布、郵送回収またはWEB回答による本人記入方式

(4) 配布数

2,000件

(5) 有効回収数

830件（回答率 41.5%）

(6) 質問概要

	ジャンル	設問数
①	ご自身のことについて	11問
②	あわら市の取組について	6問
③	子育てしやすいまちづくりについて	2問
④	あわら市ならではのまちづくり	6問
⑤	安全・安心なまちづくりについて	3問
⑥	市からの情報や市民参加について	3問
⑦	あわら市のまちづくりの方向性について	2問
⑧	自由意見・提言	1問
合 計		34問

※質問一覧は別添「資料3-2」のとおり

2. 小・中学生向け

(1) 調査期間

令和6年12月2日（月） から 12月31日（火）

(2) 調査対象者

市内の小学校（5・6年生）、中学校の在校生

(3) 調査方法

校内配布・回収による本人記入方式

(4) 配布数

1,031 件

内訳：小学生 424 件 中学生 607 件

(5) 有効回答数

875 件（回答率 84.9%）

(6) 質問概要

	ジャンル	設問数
①	ご自身のことについて	11 問
②	あわら市のまちづくりについて	4 問
③	自由意見・提言	1 問
合 計		16 問

※質問一覧は別添「資料3-3」のとおり

ご自身のことについて	
1	あなたが自認する性別を教えてください。
2	あなたの年齢を教えてください。
3	あなたの職業を教えてください。
4	あなたのお住まいの地区を教えてください。
5	あなたは、あわら市に何年住んでおられますか。
6	あなたのご家族構成を教えてください。
7	10 年前（あわら市に住み始めて 10 年未満の方は、住み始めてから）と比べ、あなたは、あわら市が良くなったと思いますか。
8	あなたがあわら市でお住まいの経緯はどれに該当しますか。
8-1	あなたは、あわら市に転入してきて良かったと思いますか。
9	あなたは、現在お住まいの場所を選ぶにあたり、どのような点を重視しましたか。（3 つまで）
10	あなたは、将来にわたりあわら市に住み続けたいと思いますか。
10-1	あわら市に住み続けたい（戻りたい）と思う理由は何ですか。（3 つまで）
10-2	あわら市外に移りたい理由は何ですか。（3 つまで）
11	あなたは、あわら市に住み続けるために必要なことは何だと思いますか。（2 つまで）
あわら市の取組について	
12	あなたは、あわら市が行っている政策についてどれくらい満足されていますか。また、どれくらい重要だと思われますか。（満足度と重要度にそれぞれ 1 つずつ○）
12-①	環境の保全
12-②	循環型社会の構築
12-③	地域防災の強化
12-④	安心なまちづくりの推進
12-⑤	保健医療の充実
12-⑥	健康づくり活動の実践
12-⑦	地域福祉の推進と災害支援
12-⑧	人権の尊重
12-⑨	高齢者福祉と介護保険の充実
12-⑩	障害者福祉の充実
12-⑪	児童福祉の充実
12-⑫	社会保障制度の充実
12-⑬	学校教育の充実
12-⑭	青少年の健全育成
12-⑮	生涯学習の推進
12-⑯	生涯スポーツの推進
12-⑰	文化と芸術の振興
12-⑱	土地利用の適正化
12-⑲	道路交通網の整備
12-⑳	新幹線開業に伴うまちづくり

12-㉑	機能的なまちの整備と景観への配慮
12-㉒	上水道事業の運営
12-㉓	下水道事業の運営
12-㉔	観光の振興
12-㉕	農業の振興
12-㉖	林業の振興
12-㉗	水産業の振興
12-㉘	工業の振興
12-㉙	商業・サービス業の振興
12-㉚	雇用環境の充実
12-㉛	交流の推進
12-㉜	市民主役のまちづくり
12-㉝	情報化の推進
12-㉞	人口減少対策
12-㉟	持続可能な行財政の運営
13	現在、あなたはどれくらい幸せですか。また、あなたの想像では、5年後どの程度幸せになっていると思いますか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。（＜現在＞＜5年後＞それぞれ点数にひとつだけ○）
14	現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどれくらい満足していますか。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点として、ご記入ください。（点数にひとつだけ○）
15	あなたの町内（集落）の人々は、どれくらい幸せだと思いますか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。（点数にひとつだけ○）
16	自分だけでなく、身近なまわりの人も幸せな気持ちでいると思いますか。
17	幸せであるために重要だと思うことは何ですか。（3つまで）
子育てしやすいまちづくりについて	
18	あなたは、安心して出産、子育てをするためには、どのような支援が必要だと思いますか。（3つまで）
19	あなたは、教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（3つまで）
あわら市ならではのまちづくりについて	
20	あわら市のまちづくりに関して、不足していると感じるものはありますか。（3つまで）
21	あなたは、環境をよくするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（2つまで）
22	SDGs※の17の目標のうち、あわら市では特にどの分野に力を入れるべきだと思いますか。（5つまで）
23	あなたは、生活を充実させる都市基盤の取組として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（2つまで）
24	あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（2つまで）
25	あなたは、産業振興・地域活性化のため、外国人の受け入れ施策にどれくらい力を入れるべきだと思いますか。

安全・安心なまちづくり	
26	あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで)
27	あなたは、防災に対する取組として、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで)
28	あなたは、市民がより健康になるために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(2つまで)
市からの情報や市民参加について	
29	市では広報紙やホームページなどで行政サービスの情報をお伝えしています。あなたは、主にどのような方法で情報を得ていますか。(3つまで)
29	現在、全国的に情報通信の技術を活用して、様々な分野でデジタル化が進んでいます。デジタル化が進むなかで、あなたが期待することは何ですか。次の中から選んでください。(3つまで)
31	市民の皆さんと市がともに役割を担いながらまちづくりを進めていくこと（協働）が必要であると考えています。協働を進めるために必要なことは何ですか。(2つまで)
あわら市のまちづくりについて	
32	あなたは、これからのあわら市をどのようなまちにしたいですか。(3つまで)
33	あなたは、あわら市のことをあまり知らない人に紹介するとき、どのようなことを話題にしますか。あるいは、あわら市を象徴するものは何だと思いますか。(3つまで)
自由意見・提言	
34	あわら市のまちづくりや行政についてのご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

ご自身のことについて	
1	あなたの性別は、次のどれにあてはまりますか。
2	あなたの学年を教えてください。
3	あなたが現在通う学校を教えてください。
4	あなたがあわら市でお住まいの経験はどれに当てはまりますか。
4-1	あなたは、あわら市に引っ越ししてきてよかったと思いますか。
5	あなたはあわら市に愛着を感じていますか。
6	あなたは、この先ずっとあわら市に住み続けたいと思いますか。
6-1	あわら市に住み続けたいと思う理由は何ですか。
6-2	あわら市に住み続けたくないと思う理由は何ですか。
7	あなたは、あわら市に住み続けるために必要なことは何だと思いますか。
8	現在、あなたは どれくらい 幸せですか。(ひとつだけ○)「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください。
9	あなたの想像では、5 年後どの程度幸せになっていると思いますか。(ひとつだけ○)「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点として、ご記入ください。
10	現在、あなたの住んでいる地域の暮らしに どれくらい満足していますか。(ひとつだけ○)「全く満足していない」を 0 点、「とても満足している」を 10 点として、ご記入ください。
11	幸せであるために重要だと思うことは何ですか。
あわら市のまちづくりについて	
12	あなたは学校以外で行う地域の活動や行事に関わりたいと思いますか。
12-1	あなたがまちづくりに関われるとしたら、どのような機会に参加したいですか。
12-2	あなたが関わりたくてもできない、関わりたくない理由は何ですか。
13	あなたは、これからのあわら市はどのようなまちになってほしいですか。
14	あなたは、みなさんの意見をあわら市のまちづくりに活かす方法として、どれが有効だと思いますか。
15	あなたは、あわら市のことをあまり知らない人に紹介するとき、どのようなことを話題にしますか。あるいは、あわら市を代表するものは何だと思いますか。
自由意見・自由提言	
16	あわら市のまちづくりについてのご意見、お考えがございましたら、ご自由にお書きください。

ワークショップの開催について

1. 目的

第3次あわら市総合振興計画の策定にあたり、今後の10年間のまちづくりの方向性や目指すべき将来像を市民とともに共有し計画に反映するため、ワークショップを開催する。

ワークショップに先駆けて実施した計画策定に向けたアンケートでは、市民のまちづくりへの意向を広く集めることを目的としたのに対し、ワークショップでは、同一の人員で、複数回の議論を重ねることで、あわら市の将来についてより深い議論を行い、意見を集約する。

【アンケート概要】

- (1) 一般アンケート 送付数 2,000人、回答数 830人、回答率 41.5%
- (2) 小学生5、6年生(424人)・中学生(607人) アンケート(児童・生徒数1,031人)
回答数 875人、回答率 84.9%

2. ワークショップ概要

- (1) 実施時期 令和7年4月～5月
- (2) 参加者 20人から30人程度の市民(広報誌、LINE、SNSによる公募)
5人程度の若手市職員
ファシリテーター(計画策定受託事業者又は政策広報課職員)
- (3) 回数 3回(3回を1セットとし、応募者多数の場合は複数セット実施する)
- (4) 手法 ワールドカフェ方式 1回、KJ法 2回

3. ワークショッププログラム(案)

第1回	【テーマ】あわら市の好きなどころ、変えたいところ 【手法】ワールドカフェ方式 【内容】自由に意見交換をしながら、市民視点からのあわら市の現状・課題の整理につながる意見を抽出 第2回以降のワークショップに向けたグループ分け(話しあいたいまちづくりの分野ごと)
第2回	【テーマ】めざしたい未来のあわら市とその実現のために必要なこと 【手法】KJ法 【内容】グループごとに「理想とする将来のまちの姿」「実現のために必要となる取組」のアイデアを話し合う 模造紙上に話し合った内容をまとめる
第3回	【テーマ】まちづくりのアイデアを具体化する 【手法】KJ法 【内容】1、2回目で出されたアイデアを基に、これから必要となる取組を具体化(実施内容、方法、役割分担等)する グループで話合った内容を全体に向けて発表する

4. その他

- ・ワークショップでのご意見については、市ホームページ上で公開
- ・ワークショップへのオンライン参加や、YouTube でのライブ配信を検討

5. 今後の流れ

- ・広報あわら 3 月号（3 月 14 日）にワークショップ参加者募集記事掲載
- ・3 月中旬から下旬にかけて、SNS やホームページで参加者募集
- ・4 月～5 月にワークショップを実施

6. 参考（ワークショップの手法について）

（1）ワールドカフェ方式

- ・概要 リラックスした対話を通じて、多様なアイデアや洞察を得る手法
- ・手順 ①4～6 人のグループでテーマを設定
②各グループで自由に意見交換
③定期的にメンバーを入れ替え、新たな視点を得る
④重要な気づきを全員で共有
- ・特徴 創造的なアイデアを引き出しやすい
異なる視点を交えることで、新しい発見が生まれやすい

（2）K J 法

- ・概要 付箋やカードにアイデア・意見・事象を書き出し、グループ化する手法
- ・手順 ①情報収集 意見やアイデアを付箋・カードに書き出し
②似た内容をまとめ、テーマを見つける
③グループ間の関連性を明確化し、全体像を整理
④方向性を決定
- ・特徴 情報を整理し、論理的にまとめるのに適している
個別の意見を統合し、合意形成を促進する
課題の本質や共通点を見つけ、具体的な行動指針を導き出す